

環境活動レポート

2024年



認証番号0011668

対象期間 : 2023年10月1日～2024年9月30日
発行日 : 2024年12月16日



株式会社明光電化工業所

目次

1. 会社概要	1
2. 環境理念・環境方針	2
3. 環境経営目標	3
4. 実施体制	4
5. 環境経営目標の実績及び評価、次年度目標	5 5.1 5.2
6. 環境活動計画、次年度計画	6
7. 環境関連法規等の取りまとめ・評価・苦情等	7
8. 代表者による全体評価と見直し・指示	8



会社概要

事業者名
代表者名
所在地

株式会社 明光電化工業所
吉牟禮勝人
本社・工場
〒410-0003 静岡県沼津市新沢田町10-35
第2工場
〒411-0907 静岡県駿東郡清水町伏見498-10
☎055-921-9111 Fax055-924-1719

連絡先
E-mail

meiko.d@minos.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.meiko-denka.com>

資本金

1,600万円

従業員数

33名

環境管理責任者

渡邊 隆光

設立

昭和40年9月

敷地面積

3,600m² (本社・工場1800m² 第2工場1800m²)

延床面積

2,800m² (本社・工場1200m² 第2工場1600m²)

事業規模

売上高 2023年度 65,100万円

事業内容

表面処理・電気めっき部品の製造
(亜鉛メッキ・亜鉛ニッケル合金メッキ・銅メッキ・スズメッキ・アルマイト・各種トップコート)

対象組織

本社・工場、第2工場



環境理念・環境方針

【環境理念】

株式会社明光電化工業所は、金属表面処理業者として、環境に配慮した生産活動を行い、環境関連法規を順守し、全社員一丸となって、地球環境保全の継続的改善に努めます。

【環境方針】

- ①エコアクション21を通じて、環境マインドのもった人材の育成を行います。
- ②化学物質使用量を把握し、適正に管理し使用します。
- ③電力・ガス・自動車燃料消費に伴う二酸化炭素の削減を行います。
- ④節水を心がけ、水使用量の削減に努めます。
- ⑤廃棄物の削減、ゴミの分別を行い、資源のリサイクルを推進します。
- ⑥事務用品、工場備品を検討し、グリーン商品購入を推進します。
- ⑦環境にやさしい製品を提供し、高付加価値製品(さびにくい)の開発に務めます。
- ⑧外部とのコミュニケーションをおこないます。

改訂日：2021年10月1日

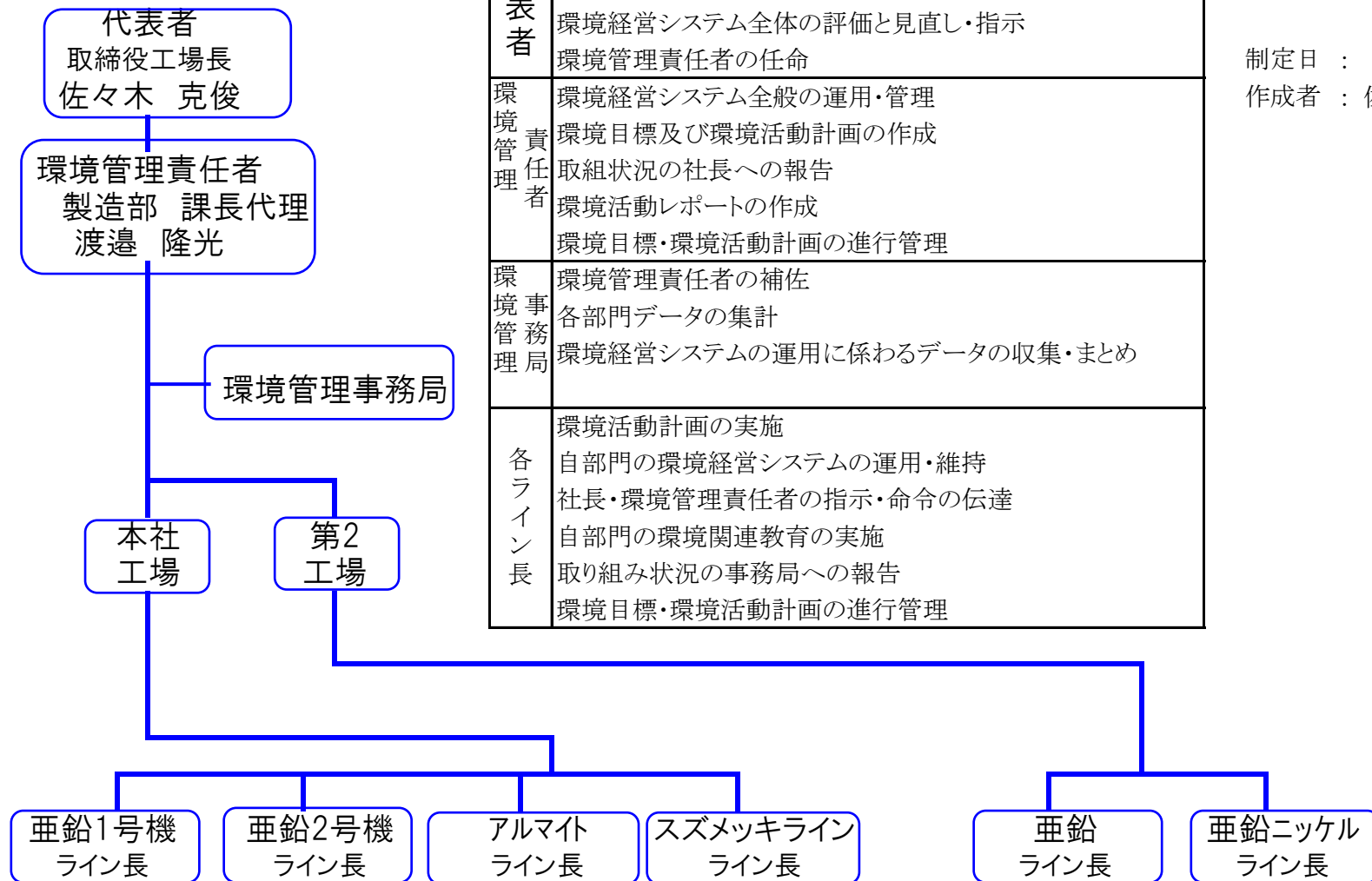
株式会社 明光電化工業所
代表取締役 吉牟禮勝人

環境経営目標

(本年度・中期計画)

環境目標項目		基準	中長期の目標					
		2023 年度	2024 年度		2025 年度	2026 年度		
		2022年10月～2023年9月	2023年10月～2024年9月		2023年10月～2024年9月	2024年10月～2025年9月		
目標設定	原単位 (kg/万円) 二酸化炭素排出量総量/売上高	19.1	基準年度比 1%削減	18.9 (-1.0%)	前年度年度比 1%削減	前年度年度比 1%削減		
	売上高	54,100	(予定)	56,805	59,645	62,628		
	伸び率	107%		105%	105%	105%		
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量総量(kg-CO ²)	1,033,712	合計 (ガソリン含む)	1,074,585	--	--		
	電力(kwh)	1,934,091	基準年度対売上高 比 0.5%削減	2,020,642	前年度対売上高 比0.5%削減	前年度対売上高 比0.5%削減		
	CO2換算(0.38Kg-kwh)	734,955		767,844				
	軽油(リットル)	19,029	基準年度対売上高 比 0.3%削減	19,841	前年度対売上高 比0.5%削減	前年度対売上高 比0.5%削減		
	CO2換算(2.58Kg-L)	49,095		51,189				
	都市ガス(Nm ³)	112,579	基準年度対売上高 比 0.5%削減	117,617	前年度対売上高 比0.5%削減	前年度対売上高 比0.5%削減		
	CO2換算(2.16Kg-m3)	243,171		254,053				
廃棄物	一般廃棄物(Kg)	1,713	基準年度対売上高 比 0.5%削減	1,790	前年度対売上高 比0.5%削減	前年度対売上高 比0.5%削減		
	産業廃棄物(Kg)	193,710		202,379				
水	上水使用量(m3)	324	基準年度売上高 比 0.5%削減	338	前年度対売上高 比0.5%削減	前年度対売上高 比0.5%削減		
化学物質	化学物質使用量の削減	化学物質使用量の把握と適切な管理	化学物質使用量の把握	実施	化学物質使用量の把握	化学物質使用量の把握		
生産活動	環境にやさしい生産方法の検討・実施	2	--	2	2	2		
コミュニケーション	環境コミュニケーションの実施	2	--	2	2	2		

エコアクション21実施体制



役割・管理・権限	
代表者	環境経営全般に関する責任と権限 環境経営に必要な資源の準備 環境経営システム全体の評価と見直し・指示 環境管理責任者の任命
環境管理責任者	環境経営システム全般の運用・管理 環境目標及び環境活動計画の作成 取組状況の社長への報告 環境活動レポートの作成 環境目標・環境活動計画の進行管理
環境事務局	環境管理責任者の補佐 各部門データの集計 環境経営システムの運用に係わるデータの収集・まとめ
各ライン長	環境活動計画の実施 自部門の環境経営システムの運用・維持 社長・環境管理責任者の指示・命令の伝達 自部門の環境関連教育の実施 取り組み状況の事務局への報告 環境目標・環境活動計画の進行管理

制定日 : 2022/1/31

作成者 : 佐々木克俊

環境経営目標

実績

2023年10月～2024年9月

環境目標項目		基準	目標		実績		
		2023年度			2024年度	比率	評価
		2022年10月～2023年9月			2023年10月～2024年9月		
目標設定	原単位 (kg/万円) 二酸化炭素排出量総量/売上高	19.1	基準年度比 1%削減	18.9 (-1.0%)	17.6	-7.2%	○
	売上高	54,100	(予定)	56,805	65,100	14.6%	○
	伸び率	107%		105%	120%		
	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量総量(kg-CO ²)	1,033,712	合計 (ガソリン含む)	1,074,585	1,142,594	6.3%
	電力(kwh)	1,934,091	基準年度対売上高比 0.5%削減	2,020,642	2,081,256	3.0%	×
	CO2換算(0.38Kg-kwh)	734,955		767,844	790,877		
	軽油(リットル)	19,029	基準年度対売上高比 0.3%削減	19,841	19,678	-0.8%	○
	CO2換算(2.58Kg-L)	49,095		51,189	50,769		
	都市ガス(Nm ³)	112,579	基準年度対売上高比 0.5%削減	117,617	138,463	17.7%	×
	CO2換算(2.16Kg-m3)	243,171		254,053	299,080		
廃棄物	一般廃棄物(Kg)	1,713	基準年度対売上高比 0.5%削減	1,790	1,874	4.7%	×
	産業廃棄物(Kg)	193,710		202,379	173,340	-14.3%	○
水	上水使用量(m3)	324	基準年度売上高比0.5%削減	338	597	76.4%	×
化学物質	化学物質使用量の削減	化学物質使用量の把握と適切な管理	化学物質使用量の把握	実施	実施		○
生産活動	環境にやさしい生産方法の検討・実施	2	--	2	2		○
コミュニケーション	環境コミュニケーションの実施	2	--	2	2		○

*電力の二酸化炭素排出係数は、静岡ガス 2020年 0.380Kg/Kwhを使用した。

1. 環境目標に対する評価

【二酸化炭素】

- | | | |
|------------|--------|---|
| ① 原単位(売上高) | 7.2%減 | 営業活動により20%売上が増加。効率的に設備稼働が行えたことにより、原単位を低減することが出来た。 |
| ② 二酸化炭素排出量 | 6.3%増 | 受注増に伴い、電気・ガス等使用が増えたが、原単位比ではほぼ達成 |
| ③ 電気使用量 | 3.0%増 | 受注増に伴い、使用量が増えたが、原単位比で達成した。 |
| ④ 軽油使用量 | 0.8%減 | 効率的な生産が出来た結果、無駄な配送が減少 |
| ⑤ 都市ガス使用量 | 17.7%増 | 受注量・小ロット品の増加・電気設備との振り分けで、増加した。生産方法の見直し |

【産業廃棄物】

14.3%減
・生産性の向上により、稼働時間を短縮できた。これにより排水スラッジ量を低減することが出来た。

【水】

76.4%増
・井水から流用している設備の一部を上水に切り替え、その後に戻し忘れがあった。これにより、使用が多くなり増大した。切替の表示を行い対策とした。

【化学物質】

・PRTR法対象物質他の使用量を、毎月算出している。

【生産活動】

2件
・生産増に伴い、生産管理方法を細かく検討した。

【環境コミュニケーション】

2件
社員の交流を企画した。

環境経営目標（次年度・中期計画）

環境目標項目		基準	中長期の目標			
		2024年度	2025年度		2026年度	2027年度
		2023年10月～2024年9月	2024年10月～2025年9月		2025年10月～2026年9月	2026年10月～2027年9月
目標設定	原単位 (kg/万円) 二酸化炭素排出量総量/売上高	17.6	基準年度比 1%削減	17.5 (-1.0%)	前年度比 1%削減	前年年度比 1%削減
	売上高	65,100	(予定)	68,355	71,773	75,361
	伸び率	120%		105%	105%	105%
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量総量(kg-CO ²)	1,142,594	合計 (ガソリン含む)	1,193,167	--	--
	電力(kwh)	2,081,256	基準年度対売上高比 0.5%削減	2,174,392	前年度対売上高比0.5%削減	前年度対売上高比0.5%削減
	CO2換算(0.38Kg-kwh)	790,877		826,269		
	軽油(リットル)	19,678	基準年度対売上高比 0.3%削減	20,517	前年度対売上高比 0.5%削減	前年度対売上高比 0.5%削減
	CO2換算(2.58Kg-L)	50,769		52,935		
	都市ガス(Nm ³)	138,463	基準年度対売上高比 0.5%削減	144,659	前年度対売上高比 0.5%削減	前年度対売上高比 0.5%削減
廃棄物	一般廃棄物(Kg)	1,874	基準年度対売上高予想比 0.5%削減	1,958	前年度対売上高比 0.5%削減	前年度対売上高比 0.5%削減
	産業廃棄物(Kg)	173,340		181,097		
水	上水使用量(m3)	597	基準年度売上高比0.5%削減	624	前年度売上高比0.5%削減	前年度売上高比0.5%削減
化学物質	化学物質使用量の削減	化学物質使用量の把握と適切な管理	化学物質使用量の把握	実施	化学物質使用量の把握	化学物質使用量の把握
生産活動	環境にやさしい生産方法の検討・実施	2	--	2	2	2
コミニ	環境コミュニケーションの実施	2	--	2	2	2

2024年度年間環境活動計画と実施評価 及び 次年度計画

活動計画	責任者	評価	次年度計画
【電力使用量の削減】 ・各部署担当者を決め、未使用スペースの照明消灯 ・生産管理を見直し待機時間比率を下げる ・空調の適温設定(冷房28℃、暖房23℃)	大久保・佐藤	○ △ ○	継続 処理条件を見直し各ラインの稼働時間の均一化 継続
【軽油使用量の削減】 ・エコドライブの推進	渡邊	○	継続
【都市ガス使用量の削減】 ・蒸気保温管の完備及び保守 ・終業時、ボイラー電源OFF時間を早める	原・志水	△ △	順次継続 継続
【廃棄物の削減】 ・排水処理使用薬品の減量化。	原・大久保	○	薬品の適切な濃度の見直し
【水・地下水】 ・体制はそのまま、必要な教育・訓練・啓蒙を実施する。	渡邊	△	計量方法の検討
【コピー用紙使用量の削減】 ・書類の電子化を推進する ・プロジェクターの使用頻度を上げ、会議資料の減量化をする	渡邊	○ ○	継続 継続
【環境教育・訓練】 ・省エネ・SDGsに関する勉強会の実施 ・緊急時の対応訓練の実施	渡邊	△ ○	継続 環境項目と関連して説明。 継続
【事業活動】 ・5S活動の推進 ・製品の提供、高付加価値の活動	原・渡邊	○ △	継続 継続
【外部コミュニケーションの推進】 ・地元自治会への協力。(協力金)	佐々木	○	継続(都度)

環境関連法規制等の取りまとめ・評価 及び 苦情等

適用する環境関連法規制等	確認
【水質汚濁防止法】	
・特定施設の設置、変更の届出	順守
・排水基準の順守・水質検査の実施	順守
【騒音規正法】	
・特定施設設置届出書の提出(変更時・送風機)	順守
【振動規正法】	
・特定施設設置届出書の提出(変更時・空気圧縮機)	順守
【フロン排出抑制法】	
・点検の実施（点検表への記載）	順守
【廃棄物処理法】	
・マニフェストの確認・保管	順守
・廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	順守
・産業廃棄物収集運搬、処分業者との契約	順守
【毒物及び劇物取締法】	
・毒物劇物取り扱い責任者の設置	順守
・保管設備の施錠	順守
・医薬用劇物の表示	順守
【PRTR法】	
・特定化学物質使用量の把握	順守
【家電リサイクル法】	
・特定家庭用機器廃棄物の適正処分	該当なし
準用する環境関連法規制等	
【グリーン購入法】	
・環境負荷が出来るだけ小さいものを優先して購入する	準用
【ELV・Rohs規制】	
・基準値の順守	準用
【労働安全衛生法】	
・特定化学物質作業主任者の設置(有資格者)	順守

順守評価日

2024年9月20日

ルールを
守ります。



最新版の確認

2023年8月から9月

- 1.環境関連法規制等の遵守状況評価の結果、順守されていました。
- 2.関係機関等からの違反等の指摘・訴訟、近所からの苦情等は、期間中ありませんでした。

代表者による全体評価と見直し・指示

2024年11月22日
代表者 佐々木克俊

【評価】

- ・二酸化炭素排出量は、受注量増大により、売上が目標を上回り、電気・都市ガス使用は増加した。原単位は下がっている。配送ロットが大きくなったため、軽油使用量の減少は配送効率アップになっている。
- ・エコアクション21の認証登録を受け、全組織が対象となり活動状況が明確となり、活発化している。
- ・環境に対する意識が少しずつ定着しつつある。省エネ・廃棄物の分別等実施がされている。

【見直し】

- ・環境方針・環境経営目標、環境活動計画、実施体制は機能しているため、継続する。
- ・設備・工程の見直しを継続的に行い、適正なエネルギー効率化を図ることが必要。
- ・全組織・活動で、SDGsに該当するものを見なおし、確認する。

【指示】

- ・環境経営方針は、改訂しない。
- ・環境経営目標・経営計画は、維持する。
- ・体制はそのまま、必要な教育・訓練・啓蒙を実施する。